

令和元（2019）年度留学生生活状況アンケート 調査結果について

1. 目的

本調査は、青森県内での留学生活について、外国人留学生がどのような意見を持っているかを明らかにし、今後の青森県内の外国人留学生支援および青森県の広報活動の参考にすることを目的としている。

2. 調査機関

令和2年1月22日～3月2日

3. 調査対象

青森県内の大学等で学ぶ外国人留学生

4. 調査方法

アンケートフォームを留学生にメールにて送信し、回答を入力してもらった。

5. 回収状況

回答件数：115件

6. アンケート結果について

今回のアンケートでは、青森県内の大学等で学ぶ外国人留学生に、青森県内での留学生活について調査した。

本調査により、奨学金を受給していない留学生のアルバイト就労率、アルバイトによる月収の平均、および母国からの仕送り月額が、奨学金を受給している留学生に比べて、いずれも高くなっていた。また、奨学金を受給していない留学生の一週間の学習・研究時間の平均が、奨学金を受給している留学生に比べて低くなっていた。このことから、奨学金を受給していない留学生の経済的負担を軽減し、十分な学習時間を確保するためには、県内自治体や大学等独自の経済支援制度が必要であると考えられる。

また、青森県内で生活するうえで天候と移動手段に困っているという声が多く、これらが青森県内の留学生が快適に過ごすために克服すべき課題であることがわかる。

一方、県内の地域交流・イベントへの参加、および県の観光促進に前向きな留学生が非常に多いことがわかった。留学生に県内のインバウンド事業に積極的に参加してもらい、その意見をもとに県の観光事業等を改善し、地域の魅力を発信していくことで、今後さらなるインバウンド強化が期待できる。

7. 別添資料

・令和元（2019）年度 留学生アンケート集計結果